

三田市社会福祉法人連絡協議会

(ほっとかへんネットさんだ) 設立趣意書

社会福祉法人は、これまで高齢・障害・児童などの要援護者に対して、様々な福祉サービスを提供することで、地域の安全・安心の下支えを担ってきました。

2000年以降、福祉サービスが措置から契約となり、社会状況やライフスタイル、制度・施策が変化する中、社会福祉法人を取り巻く状況も大きく変化しました。

一昨年国は、「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」において「地域共生社会」の実現を打ち出し、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を中心に、制度や体制を超えて、様々な生活課題の解決に向けた支援や仕組みづくりを目指しています。

また一方では、社会福祉法人制度改革をすすめ、社会福祉法を改正し、公益性・非営利性の徹底、国民に対する説明責任、地域社会への貢献を社会福祉法人に求めています。特に、社会福祉法人の本旨として、「地域における公益的な取組」が義務化され、施設機能の開放や専門性の活用など、もてる資源を活かした様々な地域公益活動を社会福祉法人が率先して取組み、地域社会に貢献することが求められました。

とりわけ、地域社会においては、少子高齢化の進行や地域・家族のつながりの希薄化等、社会的孤立や生活困窮者が社会問題となり、既存の制度やサービスでは対応できない課題も現れています。

三田市内で福祉事業に取り組む社会福祉法人として、高齢・障害・児童・介護等の福祉分野を超えて、情報交換や課題共有しながら、地域の生活・福祉課題にアプローチするためのネットワークとして、社会福祉法人の連絡協議会を設立します。

三田市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネットさんだ）は、地域課題の解決をめざす関係機関や団体、そして市行政等と連携・協働しながら、三田市域の地域福祉の向上を図ります。